

地域子育て支援センター等

職員研修 開催要綱

趣旨 地域における子育て支援の拠点として、地域子育て支援センターには多様な視点と柔軟な支援が期待されています。地域子育て支援センター等が担うべき機能と役割を再認識するとともに、求められる専門性について学びます。

1. 子育て世代の現状と課題がわかりやすく理解できます

地域子育て支援拠点事業が創設された背景や子育て世代の現状について、「少子化対策から次世代育成へ」変化していく国施策の展開と合わせて学ぶことができます。子育て世代の傾向を理解することで、保護者支援のヒントが見えてきます。

2. 「保育ソーシャルワーク」について学べます

多様な家庭の支援を行う地域子育て支援センター等の職員にとって、相談支援技術の習得は強い味方になります。

「保育ソーシャルワーク」の視点から、保護者支援について学ぶことができます。

3. 他の地域子育て支援センターの取り組みを知ることができます

「利用者が中々増えない、どうしたらいいのか」「よその地域子育て支援センターではどんな活動をしているの？」…そんな疑問にお答えすべく、他の地域子育て支援センターの活動をご紹介します。

開催形式

オンライン（オンデマンド配信）

対象

地域子育て支援センター等に勤務する職員

配信期間

※別途、ご連絡します。

研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 10,000円

申込期間

※別途、ご連絡します。

受講可否

※別途、ご連絡します。

プログラム

時間	研修科目	研修内容
約 90 分	講義 1 「子育て支援センター等に期待される役割」	子育て支援センター等を取り巻く現状と課題について、理解を深めます。 専門性をもつ地域の子育て支援拠点である地域子育て支援センター等が、保護者や地域住民から期待されている役割について、改めて考えます。
約 90 分	講義 2 「保育ソーシャルワークと保護者支援」	子育て支援センターには「保育の専門職」が常駐していることが、大きな強みです。保護者支援の機能が期待される中、「保育ソーシャルワーク」の重要性再認識し、相談援助技術の基本について学びます。
約 30 分	実践報告 1	地域子育て支援センター等における、先進的な活動や意欲的な取り組みについて、報告いただきます。
約 30 分	実践報告 2	

過年度受講者の感想

当たり前に行っている業務の重要性に改めて気づけました。PDCA サイクルでの支援が行えるよう業務を再確認しようと思いました。

具体的なケースを交えての話が参考になりました。都市部と違いはあるが、外部からの転入者も多い地域なので、支援側からのアプローチ等参考にしていきたいと思います。

支援もつい指導しがちですが、その家庭が決定していく手助けをするという忘れがちなことを思い出させてくれました！

あらためて支援センターの意義を学べた気がします。また、自分たちに足りないことも知ることができました。

社会が変化していく中で、社会の背景や移り変わりを理解しながら、今何が必要なのかの話を聞いたのは良かったです。

作り手の思い等を知り、絵本の大切さを改めて感じました。

制作のヒントを得ることができました。絵本のおもしろさを改めて感じ、保護者へ伝えていきたいなと思いました。